

平成29年第2回横手市議会3月定例会 一般質問要旨

■ 一般質問の日程

平成29年3月8日（水）～10日（金） 本会議

※午前10時、開会の予定です。

■ 一般質問の順序

期日	順番	議席番号	議員名	頁
8日	1	13番	本間利博 議員	1
	2	5番	小野正伸 議員	2
	3	20番	佐藤誠洋 議員	3
	4	8番	寿松木 孝 議員	4
9日	5	3番	立身万千子 議員	5
	6	1番	高橋和樹 議員	6
	7	7番	土田百合子 議員	7
	8	12番	奥山豊和 議員	9
10日	9	24番	齋藤光司 議員	10
	10	26番	佐々木 誠 議員	12

1. 【13番 本間 利博 議員】

1. 雪対策について

- 1) 「横手市総合雪対策基本計画」について、平成 25 年度から 5 年間の計画の最終年度を迎えるにあたり、これまでの検証と平成 30 年度からの取り組みを伺う。

- 2) 予測が難しい大雪に対しては特段の除雪態勢が必要と考えるが、大雪時の対応について伺う。

- 3) 地区会議や自主運営組織活動の重要性が指摘されているが、雪対策について地区活動との連携をどのように考えているのか伺う。

2. 【5番 小野 正伸 議員】

1. 農業振興について

- 1) 地域資源をいかした活力ある産業のまちづくりに関連して、平成30年度から始まる米の生産調整（減反）廃止を受け、多くの農家が今後の営農に関して不安を抱えている。今、行政として何ができるのか。また、米の生産調整への対応として、新年度予算にどのような形で計上し、具体的にどのように取り組んでいくのかを伺う。

2. スポーツ環境整備について

- 1) 昨年のアリーナ構想は残念ながら実現には至らなかったが、大型体育館新設の待望論は未だ根強く語られている。横手市財産経営推進計画（FM計画）の中では、既存の体育館は長寿命化、また、これ以上ハコモノはいらないとの意見もあるが、今一度仕切り直しをして、市民の皆様と共に前向きに議論する機会が必要と考えるが、市の対応を伺う。

3. 【20番 佐藤 誠洋 議員】

1. これからの横手市の産業振興政策について

- 1) 市長は、現在の横手市の経済状況をどのように分析、評価しているのか伺う。
- 2) 市長は、10年後の横手市のあるべき姿をどのように描いているのか伺う。
- 3) 市長は、今後どのように横手市の産業振興政策を進めようとしているのか伺う。

2. 横手市の「スポーツ立市」への取り組みについて

- 1) 市長は、市が行った「スポーツ立市宣言」から、「何を」「どのように」取り組んできたのか伺う。
- 2) 市長は、何の計画に基づいて、事業を提案し、事業の目的を達成させようとしているのか、計画の存在を示し、その内容、施策の具体的な目標を伺う。
- 3) 市長は、既存施設のあり方並びに新しい施設に対する考え方を、横手市財産経営推進計画（FM計画）との関連性を含めて、どのように進めて、どのように市民に説明していくのか伺う。

4. 【8番 寿松木 孝 議員】

1. 市長の政治姿勢について

- 1) 市長は外向きには様々な発信をされていると感じる一方で、市民に対しては説明が足りていないようにも感じられる。新年度予算に対する市長のスタンスを伺う。

2. 増田まんが美術館改修について

- 1) 増田まんが美術館は当初、県の未来づくり協働プログラムの交付金を活用した「改修」が基本線と理解していたが、いつのまにか施設の大規模改修という大プロジェクトに様変わりしようとしている。今一度そのコンセプトを確認する。

3. 公用車の現状について

- 1) 市所有の車は、各部署において集中管理がなされており、購入後の整備・点検・車検等は随意契約となっている。契約先の状況について、地域の均衡ある発展を公約としてきた市長の思いとは違う結果になっていると感じる。これからの契約のあり方と、地域の発展について伺う。

5. 【3番 立身 万千子 議員】

「総合計画」推進にあたり、市の「総合戦略」と「財産経営推進計画（FM計画）」をどう位置づけ市民福祉の向上を実現するのか

1. 各計画策定から1年経過しての中間総括について

- 1) 「第2次横手市総合計画について、事業評価の本格実施に向け指標の的確性等を確認した」と市長の施政方針に掲げられているが、具体的にはどのようなものか伺う。
- 2) 「横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、効果に基づく具体内容の変更や新たな施策を立案するなど目的の早期実現に向けた見直しを図った」という施政方針の結果、どう是正したのか伺う。
- 3) 「横手市財産経営推進計画（FM計画）」について、まちづくりの観点から計画の実効性をどう確保するのか伺う。

2. 市民が主役の地域づくり活動の充実について

- 1) 市民協働の活動の課題として、公民館の地区交流センター化や地区会議の機能強化をどう具体的に進めていくのか伺う。

3. 安全で快適なまちづくりを進めるために

- 1) 公共交通充実、安全で安定した水道水供給、エネルギーの地産地消、地域医療構想と地域包括ケアシステム、学校をプラットフォームとした総合的な貧困対策の展開といった課題は全部つながっている。地域の担い手はほぼ同じ人物と考えられる。庁内部局と地域住民のプロジェクトチームを結成できないか伺う。

6. 【1番 高橋 和樹 議員】

1. 市長の政治姿勢について

- 1) 市長が目指すべき、横手市役所のコンプライアンスとは何か。また、職員によるコンプライアンスに対する活動と取り組みについて伺う。

- 2) 職員の「非違行為」が発生した際の、報告と措置は適正にされているのか伺う。

7. 【7番 土田 百合子 議員】

1. 子どもの貧困対策について

- 1) 「横手市子どもの貧困対策推進計画」アンケート調査結果を受けての現状の認識と問題解決に向けた取り組みについて伺う。
- 2) 経済的な理由や家庭環境の事情などで勉強が遅れがちな児童・生徒に学校の空き教室や地域の空き店舗などを活用して、教職を志す大学生や元教員などがボランティアで学習支援を行う「地域未来塾」について、当市の考えを伺う。
- 3) 子ども食堂についての考えを伺う。

2. 放課後児童クラブについて

- 1) 当市における運営指針の策定の考えについて伺う。

3. 地域福祉政策について

- 1) 高齢化が進み、要介護の人数も増える中、介護職の人材確保や市民にとって最後の砦となる地域包括支援センターにおいても人手が足りない現状がある。このような状況の中、第7期横手市介護保険事業計画での地域包括ケアシステムの推進について当市の考えを伺う。
- 2) 介護支援ボランティア制度の導入について、平成27年3月定例会一般質問では、「高齢者のボランティア活動は多様な効果が期待できることから、新年度から介護予防、生活支援として推進していく総合事業の担い手として捉えており、元気な高齢者の励みになるような政策を検討する」との答弁であった。この制度が導入されている秋田市では、年々登録者の数も増え、活動している方からは生きがいにつながるなどの声が届いているようだ。当市での制度導入の考えを伺う。
- 3) 認知症徘徊者の早期発見につなげるスマートフォン「専用アプリ」を活用した見守りシステムについての考えを伺う。

4. 安全安心対策について

- 1) 震度5強の揺れを感知すると回路を自動的に遮断し、電気が復旧した時に発生する通電火災の防止にも役立つ「感震ブレーカー」を公共施設に設置する考えはないか伺う。

- 2) 日本語が話せない外国人のけがや病気による救急搬送時などに症状を迅速かつ正確に特定し、適切な治療へつなげるために「多言語対応救急アプリ」が必要と考えるがその運用について伺う。

8. 【12番 奥山 豊和 議員】

1. 主体性ある「よこて版DMO」の実現に向けて

- 1) 関係機関の合意形成を図りながら、DMO設立に向けて積み重ねてきたこれまでの協議の状況と、現在抱えている課題について伺う。
- 2) クールジャパン戦略の推進に対する横手市の考え方、意気込みと、施政方針で述べられている「インバウンド戦略を強力的に展開」するための「関係団体や市民の皆様と一丸となった取り組み」とは、具体的にいつまでに何をどうするのか伺う。
- 3) お客様に対する情報発信はDMOが一元的に担うべきと思うが、来年度新規事業として行う「シティセールス2020事業」のねらいと、横手市の情報戦略全般に対する考え方について伺う。
- 4) 横手市の特色あるまちづくり全般から捉えた「よこて版DMO」の位置付けと、地域の稼ぐ力を高め、多種多様な方々を巻き込みながら地域に根差したDMOを展開していく上での肝は何と考えているのか伺う。

2. 「市民生活に密着した生活インフラの整備」について

- 1) 「暮らしを支える社会基盤を強化する」ために、来年度から新規に重点事業として行うにあたり、どのようにして地域の要望を吸い上げ、「均衡ある発展」に向けた計画的な事業展開をしていくのか伺う。

9. 【24番 齋藤 光司 議員】

1. 公共温泉施設の再編及び民間譲渡計画について

- 1) 民間譲渡という手法の中でプールを残すことが可能と考えているか。また、プールを維持するという応募がなかった場合、市としてプールを残すことが可能か。どちらでも不可とするならば代替案を考えているのか伺う。
- 2) 雄川荘の日帰り施設のキャパシティで現在のえがおの丘の日帰り入浴客の受け入れは可能と考えているのか伺う。
- 3) 公共温泉施設の公募要項の中に、地域住民や利用者の施設に対する思い、意向を取り入れていく必要があると思うがその考えを伺う。また、必要があるとした場合の手法を伺う。
- 4) 民間譲渡に際して、一斉公募にこだわる理由を伺う。
- 5) 民間譲渡のプロセスには応募者のプレゼンテーションが必須だと思う。また、そのプレゼンテーションについては、市民・地域・利用者に内容の公開が基本だと思うが考えを伺う。
- 6) 市が求める地域の活性化策とは、地域という広さの定義、事業規模の大きさ等が考えられるが、具体的にどのようなことを指すのか。また、具現化の担保をどのようにとるのか伺う。
- 7) 各施設の資産価値、経営状況等が違う中で、9施設の譲渡条件を同一として良いのかその考えを伺う。
- 8) 譲渡後の9施設の想定される固定資産税額、また、解体の場合の費用はいくらと想定されるのか。また、譲渡法人が事業破綻した場合のその後の維持管理はどうするのか。そして、その時、市として無関与でいられないと思うが考えを伺う。

- 9) 現在の施設と同じ業務形態での経営参入なら、ある程度経営状況が想像できるが、新たなアイデアとして出されている高齢者施設の併設といった新事業に対して、市として許認可等も含めて、協力していくのか伺う。
- 10) 特養の民間譲渡の際、市は修繕費用について決まりを設けた。今回の温泉施設についてはどのように考えているのか伺う。
- 11) 入湯税、固定資産税の扱いをどうしていくのか伺う。
- 12) 大規模宿泊施設には、市の将来の観光振興の布石とするため、市外大規模観光業者に運営を依頼するという民間譲渡があっても良いと思うが、考えを伺う。
- 13) 応募のない施設に対しては、どのような手順、期間等で存廃を決定するのか伺う。
- 14) 施設の指定管理者である第三セクターに譲渡先としての優先性をもたせないとしたが、結果的に第三セクターの会社としての存廃を決めることにならないか心配している。そのことに対する考えを伺う。
- 15) 現在、9施設で189人の雇用者がおり、身分保障がされているのは市の正職員7人だけである。身分の安定しない182人の雇用について、市はどのような責任を持って対応していくのか伺う。

10. 【26番 佐々木 誠 議員】

1. 予防接種事業について

- 1) 任意予防接種事業と定期予防接種の違いについて伺う。
- 2) 「ワクチン接種は副反応が発生する」という認識の程度について伺う。

2. 十文字地域小学校統合事業について

- 1) 周辺農業者への説明はどのようにするのか伺う。

平成29年3月定例会日程予定【会期24日間】

本会議 午前10時開会予定です・傍聴できます

- ◇2月27日(月) 〔開会〕施政方針説明 ほか
- ◇2月28日(火) 議案(新年度予算) 審査
- ◇3月 7日(火) 会派代表質問
- ◇3月 8日(水) 一般質問
- ◇3月 9日(木) 一般質問
- ◇3月10日(金) 一般質問
- ◇3月22日(水) 委員長報告 ほか 〔閉会〕

— 傍聴席は本庁舎7階です —

委員会

- ◇2月28日(火) 一般会計予算特別委員会
- ◇3月13日(月)
- ◇3月14日(火) } 各常任委員会・一般会計予算特別委員会分科会
- ◇3月15日(水) }
- ◇3月22日(水) 一般会計予算特別委員会

横手市

検索

横手市のホームページにあります、

議会のコーナーをクリックしてください。

本会議録画・会議記録・市議会だよりを
いつでもご覧いただけます。

◇ 横手市議会事務局 ◇

〒013-8601 横手市中央町8番2号 (横手市役所 本庁舎 6階)

TEL : 0182-32-2535 FAX : 0182-32-6539

E-mail : gikai@city.yokote.lg.jp

横手市議会マスコットキャラクター

“しらとり議員”

